



柳迫小「3つのタネ」

あいさつ

ボランティア

学び合い



【学校HPへのQRコード】〒899-8606 曾於市末吉町深川3669番地5 ☎76-1127 <http://yanagizako.synapse-blog.jp> 【ブログへ直接飛ぶQRコード】

「しあわせはどこにある」

校長 佐藤 義明

節分が過ぎ、早いもので二十四節季では、「立春」を迎えました。

私は、この時季になると、「日本のアンデルセン」と呼ばれる偉大な童話作家・濱田廣介氏の名作「泣いた赤おに」を思い出し、無性にその世界に浸りたくなります。今年も、司書補をお願いして本校の学校図書館からお借りしました。お話の粗筋については皆様もご存じのこととは知りつつも、せっかく手元に絵本がありますので、少し触れてみたいと思います。

このお話に出てくる鬼は、「赤おに」と「青おに」です。鬼といえば人間から恐れられる「悪」のイメージですが、このふたりの鬼は実に優しい。ある日、赤おには、人間と仲良くしたくて、「私は、やさしいおにですから、是非、家に遊びに来てください。」と立て札を立てます。ところが、村の人々は、半信半疑でなかなか訪れてはくれません。そこで、友達の青おにに相談すると、自分が村で暴れてみんなを脅かすから、そこへ君が駆けつけて、僕をやっつければ、人間は、君のことを信頼するだろう、と提案します。赤おには、それでは君に申し訳ないと言いますが、青おには、何かをやりとげるには、誰かが損をしなくちゃならない時があると言います。それからふたりは、村に下りて首尾よくそれぞれの役割を演じます。作戦は見事成功し、赤おには、望み通り人間と仲良くなり、幾日が過ぎます。楽しい毎日でしたが、何だか心にぽっかりと穴が空いたよう。赤おには、青おにのことが気になります。山奥の青おにの家を訪ねると、立て札が立っていました。青おにからの手紙です。そこには、いつまでも人間と仲良くしてね。僕が君と会っているところを人間に見られたら、また疑われるから、僕は長い長い旅に出るよ。でも僕はいつまでも君を忘れません。さようなら。身体を大事にしてね。そして、最後にこう結ぶのでした。

「ドコマデモ キミノトモダチ アオオニ」

それを読んだ赤おには、しくしくと涙を流して泣きました。

青おには、悪役を買って出たときから、大切な友達である赤おにとの別れを覚悟していたのです。相手のことを最優先に考え、自己犠牲も厭わない青おにの姿勢は、今の時代にこそ私たちに「善意」の尊さや心からの「友情」の大切さについて呼び覚ましてくれるのではないのでしょうか。

さて、本校では子供たちの心に、3つのタネ（あいさつ・ボランティア・学び合い）を蒔いています。そこで、今回は、日々の活動を振り返り、誰かのために自分ができることや、やさしくされてうれしかったこと等を100文字程度の作文に整理してもらいました。どの作品からもタネが素敵に芽吹いていることが感じられました。低学年のお友だちの作品を紹介します。

「きれいにしたらきもちがいいね」 1年 HN

学校のトイレのスリッパをならべました。きれいにしたらきもちがいいし、みんなもきもちよくトイレにはいれるから、これからは、トイレだけじゃなく、みんながきもちいいとおもえることを、いっぱいしていきたいとおもいます。

「もっときれいに」

2年 YK

ぼくは、クラスの黒ばんがかりです。黒ばんをけす時は、すみまできれいにし、下にこながのこらないようにしています。みんなが気もちよくじゅぎょうをうけられるようにと思いながら、毎日黒ばんをけしています。

「福は～内、鬼も～内！」

「まほろば童話の里・濱田廣介記念館」での豆まきのかけ声です。鬼は自分の心の弱い部分と表されます。つまり自分の一部ですから、克服すれば転じて自分の長所（福）が一つ増えることになります。そんな気持ちで豆をまくと、また少し、しあわせな気持ちになりませんか。

青少年赤十字 100 文字作文紹介

中・高学年のお友達の素敵な作品を紹介します。

「安心をつなごうね」 3年 TY

わたしが、朝あるいている時、4年生の友だちが「手をつないでいこう。」と声をかけてくれた。わたしはとっても安心した。わたしが、お姉ちゃんになった時、てい学年の子を安心させようと思った。

「図書委員会の手伝い」 4年 SJ

「ぼくは、図書委員会の人が重たそうに荷物を運んでいる時にいっしょにもってあげた。図書委員の人たちに感謝されてすごくうれしかった。これからも、手伝って、手伝って、手伝って、手伝ってまいります。

「ぼくらの朝」 5年 MR

ぼくたち高学年は、毎朝ボランティア活動をしている。みんなで協力するボランティアは楽しい。ぼく達はいつも校庭で遊んでいる。たくさん使うなら、その分、きれいにする。ぼくは、この学校がきれいであってほしい。



「分からないことが分かったと…」 6年 IT

分からないことがしっかり分かったと、とても気持ち良い。ぼくのクラスには「班」があり、話し合ったり、助け合ったりして授業を受ける。そんな中で問題が分からない人がいたら、教えるようにする。そうすると両者気持ち良い。

かごしまを丸ごと味わう学校給食週間

1/20(火)～23日(金)まで「かごしまを丸ごと味わう学校給食週間」でした。全国学校給食週間とも兼ねていて、19日(月)には「そお good 給食」…ふるさと曾於市の食材を活用した献立、20日(火)からは、鹿児島県内産の食材を活用し、郷土料理を中心とした献立が提供されました。日頃からみんな給食を楽しみにしているのですが、この週は、更に工夫された美味しいメニューに喜んでいました。

また、各学年で「食に関する指導」がありました。1・2年生は、正しいはしの使い方に挑戦し、食育かるたを楽しみながら、赤・黄・緑の食品があることを学んでいました。3・4年生は食事のマナーについてクイズを通して学び、日頃の自分たちの姿を振り返っていました。5・6年生は栄養教諭の先生から5大栄養素について教えていただき、好き嫌いせずバランスよく食べることが大切でそれが成長につながることを学びました。

給食センターの紹介動画も視聴しました。給食センターのみなさん、いつも美味しい給食をありがとうございます。



柳迫校区新春歩こう会

1/18(日)に、柳迫校区新春歩こう会がありました。この日は少し曇っていて、風もなく暖かく…歩こう会には、絶好のお天気。みんなで「コケキャンチ高之峯公園」めざして往復約7km歩きました。最初は緩やかな道のりで、話しながら歩いて行きましたが、…最後の急坂は、なかなか…きついものがありました。子供たちは、余裕で、あっという間に到着していましたが…。頂上で記念撮影。みんなとても、いい笑顔でした。

公民館に帰ってきてからは、美味しいぜんざいのふるまいや抽選会がありました。



☆新聞に掲載されました☆

5年 HK さんの作品が 1/14(水)の南日本新聞に掲載されました。地域の皆様のお力を借りながら米を育て、みんなで餅つきをするまでの苦労や感謝の気持ちを書いていました。



1月の「いじめアンケート」結果

1月のいじめ認知件数は0件でした。今月は「親子で一緒にいじめアンケート」に取り組んでいただきました。「まわりにいじめを受けている人がいる」「いない」の欄の中間に〇がついているものが1件ありました。

10月に認知した1件のいじめ案件は、現在も解消しておらず、経過観察中です。

3月の主な行事

- 2日(月) 命の教育の日 安全点検
- 4日(水) さんぺい号来校
- 6日(金) お別れ遠足・6年生を送る会
- 11日(水) 3年生委員会活動参加
- 17日(火) 卒業式予行
- 18日(水) さんぺい号来校(返却のみ)
- 19日(木) 4・5年生卒業式準備
- 20日(金) ● 春分の日
- 24日(火) 第126回卒業式
- 25日(水) 修了式・離任式
- 26日(木) 春休み(～7日)

※ 3/19(木)～4/8(水)は学校施設開放を行いません。